



今年、広島市・長崎市に人類史上初めて原子爆弾が投下されたあの夏の日から61年目を迎えました。伊賀市では、8月5日から3日間、市内中学生の代表12名を広島市平和記念式典に派遣しました。参加した生徒は、平和を願い世界中から集まった多くの方々と、忘れられない、忘れてはいけない8月6日午前8時15分に世界の平和を祈りました。派遣生徒のレポートにより、当日のヒロシマの様子を紹介します。

事前学習会

平成18年7月25日(火)午後1時30分～ / 市役所本庁第11会議室

市内12中学校の代表者が集まり、事前学習会が行われました。



味岡教育長から激励



派遣生徒それぞれが自己紹介をしました

広島派遣

平成18年8月5日(土)～7日(月) / 広島市

広島派遣団は、8月6日に行われる広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式(平和記念式典)に参加しました。また、平和学習として平和記念資料館見学や被爆体験講話を受講しました。

平和記念式典 (8月6日)



私は平和記念式典には初めて参加させてもらいました。そこにはいろいろな国からとてもたくさんの人達が来ていて、平和を願う気持ちと平和の大切さを改めて知りました。この日学んだことは、私にとってすごく貴重なものになりました。

崇広中学校3年 小谷菜央さん



平和記念式典で広島市内の小学生の男の子と女の子2人が「平和への誓い」をしてくれました。2人は、平和とは一体何なのかを話してくれ、最後には、命を大切に、精一杯生きることを誓ってくれました。

緑ヶ丘中学校3年 木谷香菜さん

献花 (8月6日)



献花をさせていただいて思ったことは、二度と戦争がおこらないようにということでした。みんなで世界平和を願って生きていこうと、一番強く思った日でした。

大山田中学校3年 管谷大樹さん



献花を捧げて思ったことは、今世界で起こっている戦争を終わらせてほしいということです。広島悲劇を繰り返すことのないように、みんなで一生懸命お祈りした一日でした。

豊峰中学校3年 清水晃司さん

平和記念資料館（8月6日）



僕は平和記念資料館を見学しました。そこには、8時15分で止まった時計がありました。ほかにも石に人影が残っていたりしました。このような原爆の放射線・熱線・爆風の力のすごさに驚きました。

青山中学校3年 金山雅俊さん



僕は昔、資料館に行った事があるけれど、8月6日の式典の後に訪れたら、前に見た資料も、平和へつなげていくための大切な物だと思いました。原子爆弾で亡くなった人達のためにも自分達で恒久平和を実現したいです。

島ヶ原中学校2年 勝森亮太さん

原爆ドーム（8月6日）



原爆ドームは爆風などによって崩壊したので、どこか物寂しい感じがすると思っていたけど、実際はとても偉大な雰囲気が出ていて圧倒されてしまいました。この建物によっていろんな事が学べたと思います。本当に残っていてよかったです。

丸山中学校3年 重倉沙紀さん

原爆ドームの下には当時のままの崩れたガレキが残っていて、原爆の衝撃が生々しく伝わってきました。原爆ドームが残されているおかげで、今もなお私達が戦争の恐ろしさを感じとれるのだと思います。

成和中学校3年 徳本文香さん



とうろう流し (8月6日)



私は、灯ろう流しを見て、たくさんの人が集まって灯ろうを流していて、みんなが平和を願っていて、本当に平和になってほしいと思いました。「平和」の文字が光っていて、なんか明るい平和ができると思います。

桃青中学校3年 坂本珠名樹さん

私は、灯ろう流しを体験してみても良かったです。灯ろう流しはたくさんの人々がいたので、本当に平和を願っているということが分かりました。この灯ろう流しをみんなが平和になるまで続けて、よりよい世界に！！

府中中学校3年 福田 恵さん



被爆体験談講和 (8月7日)



高山等さんのお話を聞いて思うことは、戦争とは何もかも奪っていくものだということです。高山さんは僕たちに辛い過去などを話してくれました。僕だったら辛くて話せないのではないかとすることも話していただきました。

柘植中学校3年 中森大輔さん

高山等さんの話を聞いて、命の大切さをあらためて実感しました。高山さんは病院に入院している時に、子どもを見て、死にたくないと思ったと言っていました。死にたい人など誰もいないのだと実感しました。それなのに、その尊い命を奪ったりするのは許されないとだと思いました。

阿山中学校3年 中川善友さん



事後学習会

平成18年8月17日(木)午前9時～ / 市役所本庁第11会議室

ヒロシマで学んだ事や平和記念式典に参加した感想を市長に報告しました。



今岡市長への報告会の様子



8月6日午前8時から始まった式典では「慰霊の曲」が流れる中、この1年間に死亡が確認された5,350人の名前を書き加えて88冊24万7,787人となった原爆死没者名簿と、いまだ名前すら分からない死没者を慰霊するために「氏名不詳者多数」と新たに記された名簿1冊が原爆死没者慰霊碑に奉納された。

秋葉忠利広島市長は、平和宣言で「核兵器からの自由をもたらす責任は今や、私たち世界の市民と都市にある」と強調した。「固い意志と情熱を持って目覚めるときが来た」と核兵器気廃絶への行動を呼びかけた。

この日、ヒロシマは61回目の原爆の日を迎え、平和記念式典には約4万5,000人が参列した。

